

た、現在見直し中の地域防災計画に添って、自主防災組織の育成・強化を図るとともに、消防団の機械器具・詰所についても計画的に整備を図ってまいります。新規事業といたしましては、資源の有効利用を推進するためモデル地区を選定して資源ゴミ分別収集事業を実施いたします。

その他、ウオーキングトレイル調査委託事業、日光都市基本計画策定委託事業、および街並景観保持補助事業は引き続き実施するほか、清滝地区土地区画整理事業につきましては、地元住民の方々の話し合いを引き続き行っております。

社会福祉

長寿社会の到来に向けた高齢化対策といたしましては、「明日もまわってね」一声配達事業、ねたきり老人紙おむつ給付事業を引き続き実施いたしますとともに、昨年設立しました社会福祉法人「見友会」に対して補助事業を実施し、新たにデイサービス委託事業、在宅介護支援センター委託事業も実施してまいります。その他日光市社会福祉協議会については、補助金を増額いたしますとともに、障害者福祉作業所運営委託事業、心身障害

児通園ホーム事業およびホームヘルプサービス委託事業を引き続き実施してまいります。また、市民の健康増進を図るため、三十歳以上を対象にした骨密度測定業務委託事業、三歳児未満を対象とした乳児医療扶助事業を新たに実施いたします。さらに、健康機器ヘルストロン購入事業を実施するほか、機能回復訓練事業も引き続き実施してまいります。

産業振興

国内の景気は緩やかながら回復の動きが見られ始めておりますが、長引く景気の低迷で地域経済は極めて厳しい状況にありますので、国・県および各種団体とも連携を保ちながら地域経済の振興を図ってまいりたいと考えております。

農林関係につきましては、農山村地域および農林業の振興を図るため、県単土地改良事業、林業構造改善事業およびふるさと山村活性化事業等を引き続き実施するほか、新規事業として山村振興農林漁業特別対策事業、ふるさと緑化事業を実施してまいります。また、深刻になった野性鳥獣による被害を防止するため野性鳥獣被害対策事業を引き続き

実施してまいります。観光関係につきましては、日光観光協会補助事業、奥日光マラソン大会開催補助事業を引き続き実施いたしますとともに新規事業としては、美術館建設工事と一体化した山内地区駐車場整備事業を実施いたします。

教育・文化・スポーツ

学校教育関係では、義務教育施設整備事業といたしまして、野口小特別教室新築工事、清滝小給食調理室改修工事および小来川小給食室内排水側溝改修工事等を実施するほか、児童生徒の資質の向上を図るため教育機械の充実、通学費補助、幼稚園推奨費および奨学資金を確保し、勉強意欲の高揚に寄与できるよう教育環境の整備を図ってまいります。

社会教育や文化関係については、生涯学習の体制を確立し、広く市民に学習の機会を設けるための各種講座の開設や図書の実施を図ってまいります。青少年海外体験研修事業については、交付金を増額いたしますとともに、文化財

保存修復補助事業は引き続き実施するほか、地区公民館建設補助金については増額いたします。さらに、昨年十月に開催された国民文化祭日光大茶会の継続性を図るための日光茶会実行委員会補助事業および日光市青少年合唱団の結成を踏まえて、国立音楽大学カンマーコール合唱団実行委員会補助事業を新規事業として実施いたします。美術館整備事業につきましては、平成九年度の開館に向けて平成七年度・八年度も継続事業で、整備工事を実施していくとともに美術作品収集や映像システムの導入も図ってまいります。また、財団法人の設立に向けて基本財産としての出捐金の措置を行ってまいります。

次に、スポーツ関係では、平成九年二月に開催される第十七回全国中学校スケート・アイスホッケー大会補助事業を実施いたしますとともに、所野運動公園につきましては、平成八年度から年次計画で整備を図ってまいります。さらに、県立アイスアリーナ管理事業、アーデル霧降シーズン券購入事業については引き続き実施してまいります。

以上四項目についてご説明を申し上げましたが、その他、

市民サービスの向上のための広報編集機導入事業や印鑑登録証明事務の電算化を実施し、行政事務の迅速化を図ってまいります。さらに、社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な行政システムを確立するため、現在策定中であります日光市行政改革大綱を踏まえて、引き続き全庁的な行政全般にわたる見直しを推進してまいります。

予算の執行にあたりまして

冷静に 初期消火

日光地区危険物保安協会と日光市防火管理者協議会の主催による「消火技術競技会」が、三月十三日に所野運動公園陸上競技場で行われました。

優勝チームは日光金谷ホテルAチーム、準優勝は品川区立日光光園と(株)稲葉商店でした。

競技内容は、指揮者と消火員の二人一組が消防署員のホイッスルの合図で、二十メートル先の燃焼皿に燃えている火を粉末消火器で消し、そのタイムと消火態度を競うものです。



参加チーム数は、市内の事業所、旅館、ホテル、ガソリンスタンド、燃料店など三十一チームで、ど

は、市民の福祉の向上を第一に、住みやすく魅力あふれるまちづくりを目指して、来る二十一世紀に向けて、職員ともども全力を傾注してまいります。議員各位をはじめ市民の皆様の深いご理解と積極的なご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。平成八年度の施政方針といたします。